

令和 7 年度
全国学力・学習状況調査

解説資料

児童生徒一人一人の学力・学習状況に応じた
学習指導の改善・充実に向けて

中学校 国語



令和 7 年 4 月
国立教育政策研究所
教育課程研究センター

目 次

令和7年度 全国学力・学習状況調査 解説資料について	1
I 中学校国語科の調査問題作成に当たって	4
II 調査問題一覧表	7
III 調査問題の解説（出題の趣旨、解説、解答類型等）	9
1 案内文を書く（美術展のちらし）	10
2 スピーチをする（活動のアイデアを発表する）	19
3 文学的な文章を読む（「二人の兄弟」）	29
4 手紙を推敲する（職場体験活動のお礼状）	38
IV 解答用紙（ 正答（例））	44
V 点字問題（抜粋）	47
VI 拡大文字問題（抜粋）	54

令和7年度 全国学力・学習状況調査 解説資料について

◆ 目的

本資料は、令和7年度全国学力・学習状況調査の実施後、各教育委員会や学校が速やかに児童生徒の学力や学習の状況、課題等を把握するとともに、それらを踏まえて調査対象学年及び他の学年の児童生徒への学習指導の改善・充実等に取り組む際に役立てることができるように作成したものです。

◆ 特徴

「教科に関する調査」の各問題について、学習指導の改善・充実を図るための情報を盛り込んでいます。

「教科に関する調査」の各問題について、出題の趣旨、学習指導要領における内容、解答類型、正答や予想される解答の解説、学習指導の改善・充実を図るための情報等を記述しています。

全ての先生が、学習指導の改善・充実に活用できるものを目指して作成しています。

本調査は、小学校においては第5学年まで、中学校においては第2学年までに、十分に身に付け、活用できるようにしておくべきと考えられる内容を出題していますので、調査の対象学年だけではなく、全学年を通じた学習指導の改善・充実を図るための参考とすることができます。各問題の「学習指導要領における内容」には、該当する学年を示していますので、学校全体で組織的・継続的な取組を展開する際に活用できます。

調査実施後、すぐに活用できるように作成しています。

調査結果が出る前の段階から、調査問題を日々の学習指導の改善・充実を図る際に役立てることができるように作成しています。

※調査結果を公表する際、調査結果から見られた課題の有無や誤答の分析、学習指導の改善・充実を図る際のポイント等を示した「報告書」を作成します。

一人一人のつまずきが見えるように「解答類型」を設けています。

本調査では、児童生徒一人一人の具体的な解答状況を把握することができるように、設定する条件等に即して解答を分類、整理した「解答類型」を設けています。

「解答類型について」で、つまずきの分析ができるように解答類型の説明をしています。正誤だけではなく、一人一人の解答の状況（どこでつまずいているのか）等に注目して、学習指導の改善・充実を図ることができます。

関連する過去の資料も活用できるように作成しています。

関連する過去の調査の解説資料や報告書等の該当ページも記載しています。

学習指導の改善・充実を図る際は、これらの資料も併せて活用すると一層効果的です。

※過去の解説資料・報告書等は、国立教育政策研究所のウェブサイトで見ることができます。

(<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>)

◆ 本資料の活用にあたって

I 調査問題作成にあたって

調査問題作成の基本理念、調査問題作成の枠組みについて解説しています。

II 調査問題一覧表

問題の概要、出題の趣旨、関係する学習指導要領の内容、評価の観点、問題形式を一覧表にまとめています。

Ⅲ 調査問題の解説

調査問題について、出題の趣旨、解説（学習指導要領における内容、解答類型）等を記述しています。（問題によっては、記述のない項目もあります。）

調査問題を縮小して掲載しています。
※著作権の都合により一部を省略しているものもあります。

※図はイメージです。

1. 出題の趣旨

問題ごとに出題の意図、把握しようとする力、場面設定などについて記述しています。

2. 解説

趣旨

問題ごとの出題の意図、把握しようとする力などを示しています。

■学習指導要領における内容

調査対象学年及び他の学年の児童生徒への学習指導の改善・充実を図る際に参考となるように、関係する学習指導要領における内容を示しています。

■評価の観点

問題に関係する評価の観点を示しています。

解答類型（下欄の＊を参照）

児童生徒一人一人の解答状況を把握することができるように、問題における解答類型を示しています。

教科名□

問題画像

1. 出題の趣旨

.....
.....
.....

2. 解説

設問○

趣旨

.....
.....

■学習指導要領における内容
〔第○学年〕

■評価の観点

解答類型

問題番号	解答類型	正答
□ ○	1.	◎
	2.	
	3.	
	4.	
99	上記以外の解答	
0	無解答	

* 児童生徒一人一人の解答状況を把握するために

<解答類型> 児童生徒一人一人の具体的な解答状況を把握することができるように、設定する条件等に即して解答を分類、整理したものです。解答例を示すとともに、「解答類型について」の解説を加えていますので、児童生徒一人一人の解答の状況（どこでつまづいているのか）等に着目した学習指導の改善・充実を図る際に活用することができます。

<正 答> 「◎」…解答として求める条件を全て満たしている正答
「○」…問題の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答

<類型番号> 類型1～38（最大）… 正答・予想される解答
（複数の類型が正答となる問題もある）
類型99 … 「上記以外の解答」
（類型1～38までに含まれない解答）
類型0 … 「無解答」（解答の記入のないもの）

※図はイメージです。

■解答類型について

○【解答類型1】は、.....。

○【解答類型2】は、.....。

○【解答類型3】は、.....。

○【解答類型4】は、.....。

(参考)

○同一の問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H□A□□		・・%	pp□-□	pp□-□
H□A□□		・・%	pp□-□	pp□-□

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H□B□□		・・%	pp□-□	pp□-□
R□□□		・・%	pp□-□	pp□-□

3. 出典等

.....

■解答類型について

予想される解答から、身に付いている力や考えられるつまずき等を記述しています。

(参考)

過去の関連する問題、解説資料、報告書等を記載しています。

※平成 25 年度から令和 3 年度の調査問題は、学習指導要領（平成 20 年告示）の目標及び内容に基づき作成されています。

3. 出典等

著作物からの出題の場合に、出典及び著作権者等について示しています。また、問題作成に当たって参考としたものについても示しています。

IV 解答用紙（正答（例））

調査問題の解答用紙に正答（例）を記述したものを掲載しています。

V 点字問題（抜粋）

点字問題の一部を、当該問題の解答類型及び作成に当たって配慮した点などとともに掲載しています。

VI 拡大文字問題（抜粋）

拡大文字問題の一部を、当該問題の通常問題及び作成に当たって配慮した点などとともに掲載しています。

※本資料では、以下の資料については略称を用いています。

資料			略称
「平成○年度 全国学力・学習状況調査	解説資料	○学校 ○○」	「平成○年度【○学校】解説資料」
「平成○年度 全国学力・学習状況調査	報告書	○学校 ○○」	「平成○年度【○学校】報告書」
「令和○年度 全国学力・学習状況調査	解説資料	○学校 ○○」	「令和○年度【○学校】解説資料」
「令和○年度 全国学力・学習状況調査	報告書	○学校 ○○」	「令和○年度【○学校】報告書」

I 中学校国語科の調査問題作成に当たって

中学校国語科の調査問題作成に当たって

1 調査問題作成の基本理念について

「全国的な学力調査の今後の改善方策について（まとめ）」（平成29年3月）では、「全国学力・学習状況調査の調査問題については、新しい学習指導要領が求める育成を目指す資質・能力を踏まえ、それを教育委員会や学校に対して、具体的なメッセージとして示すものとなるよう検討を進める。」としている。

平成29年3月に公示された中学校学習指導要領（平成29年告示。以下「学習指導要領」という。）は、教科等の目標や内容について、生きて働く「知識及び技能」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」という三つの柱に基づいて再整理されており、これらの資質・能力の三つの柱は相互に関係し合いながら育成されるものという考え方に立っている。

平成31年度（令和元年度）以降の調査問題では、こうした学習指導要領の考え方への各教育委員会や各学校の理解を促すため、それまでの「主として『知識』に関する問題」と「主として『活用』に関する問題」に区分するといった整理を見直して、一体的に調査問題を構成することとした。

なお、「全国的な学力調査の具体的な実施方法等について（報告）」（平成18年4月）では、具体的な調査問題の作成に当たって、「調査問題自体が学校の教員や児童生徒に対して土台となる基盤的な事項を具体的に示すものであり、教員による指導改善や、児童生徒の学習改善・学習意欲の向上などに役立つとの視点が重要である」としていることにも留意する必要がある。

以上の点等を踏まえ、本調査の調査問題は、国際的な学力調査の考え方や調査結果及び課題等も考慮しつつ、学習指導要領に示された国語科の目標及び内容等に基づいて作成することを基本とした。

2 調査問題作成の枠組み

（１）学習指導要領の内容と評価の観点について

学習指導要領に示されている以下の内容に基づいて、その全体を視野に入れながら、中心的に取り上げるものを精選した。なお、中学校第2学年までの内容となるようにしている。

〔知識及び技能〕

- (1)言葉の特徴や使い方に関する事項
- (2)情報の扱い方に関する事項
- (3)我が国の言語文化に関する事項

〔思考力、判断力、表現力等〕

- A話すこと・聞くこと
- B書くこと
- C読むこと

※ 「A話すこと・聞くこと」については、生徒が実際に話したり聞いたりするような調査を行うことが難しいため、場面設定・状況設定などを工夫して、話す・聞く活動にできるだけ近づけた出題となるようにした。

また、評価の観点として、「知識・技能」、「思考・判断・表現」に関わるものを出題した。

（２）問題形式について

問題の形式は、選択式、短答式、記述式の3種類としている。記述式の問題では、複数の考え方、答え方があるものなどについて出題している。

◆ 点字問題、拡大文字問題、ルビ振り問題の作成について

本調査では、視覚障害等のある児童生徒及び日本語指導が必要な児童生徒等に配慮した調査問題（点字問題、拡大文字問題、ルビ振り問題）を作成している。

点字問題では、全体を点訳するとともに、点字による図版等の認知に伴う負担等を考慮し、図版等の情報の精査（グラフを表にしたり、記述による説明に替えたりするなど）を行ったり、出題の趣旨を踏まえた上で、出題形式の変更や代替問題の作成を行ったりするなどの配慮を行っている。

拡大文字問題では、対象となる児童生徒の見え方やそれに伴う負担等を考慮し、文字や図版等を拡大するとともに、文字のフォントや図版等の線の太さ・濃さ、コントラスト、レイアウト等を変更するなどの配慮を行っている。

Ⅱ 調 査 問 題 一 覧 表

調査問題一覧表 【中学校国語】

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容						評価の観点			問題形式		
				知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式
				(1) 関言 すの 特徴 や使 い方 項に	(2) 関情 報す の扱 い方 項に	(3) 関我 がす 国の 言 語事 文化 項に	A 話す こと ・聞 くこ と	B 書 く こ と	C 読 む こ と						
1	一	変換した漢字として適切なものを選択する (かいしん)	文脈に即して漢字を正しく使うことができるかどうかをみる	2 ウ						○			○		
	二	ちらしに「会場図」を加えた目的を説明した ものとして適切なものを選択する	目的に応じて、集めた材料を整理し、 伝えたいことを明確にすることが できるかどうかをみる					1 ア			○		○		
	三	ちらしの中の情報について、示す位置を 変えた意図を説明したものとして適切な ものを選択する	書く内容の中心が明確になるよう に、内容のまとまりを意識して文 章の構成や展開を考えることが できるかどうかをみる					1 イ			○		○		
	四	ちらしの読み手に向けて、今年の美術展 の工夫について伝える文章を書く	自分の考えが伝わる文章になるよう に、根拠を明確にして書くこと ができるかどうかをみる					1 ウ			○				○
2	一	スライドを使ってどのように話しているの かを説明したものとして適切なものを選 択する	資料や機器を用いた話し方の工夫を 捉えることができるかどうかを みる				2 ウ				○		○		
	二	聞き手の反応を見て発した言葉について、 そのように発言した理由を説明したもの として適切なものを選択する	相手の反応を踏まえながら、自分 の考えが分かりやすく伝わるよう に表現を工夫することができるか どうかをみる				1 ウ				○		○		
	三	「話の順序を入れ替えた方がよい」とい う助言の意図を説明したものとして適切 なものを選択する	自分の考えが明確になるように、 論理の展開に注意して、話の構成 を工夫することができるかどうか をみる				2 イ				○		○		
	四	発表のまとめの内容をより分かりやすく伝 えるためのスライドの工夫について、ど のような助言をするか、自分の考えを書 く	資料や機器を用いて、自分の考え が分かりやすく伝わるように表現 を工夫することができるかどうか をみる				2 ウ				○				○
3	一	物語の始めに問いかけが示されているこ とについて、その効果を説明したもの として適切なものを選択する	表現の効果について、根拠を明確 にして考えることができるかどう かをみる						1 エ		○		○		
	二	「兄」と「弟」が、物語の中でどのような 性格の人物として描かれているかを書く	文章全体と部分との関係に注意し ながら、登場人物の設定の仕方を 捉えることができるかどうかを みる						2 ア		○			○	
	三	「しきりと」の意味として適切なものを選 択する	事象や行為を表す語句について理 解しているかどうかをみる	1 ウ						○			○		
	四	「一 榎木の実」に書かれている場面が、 「二 釣の話」には書かれていないこと による効果について、自分の考えとそ うに考えた理由を書く	文章の構成や展開について、根拠 を明確にして考えることができる かどうかをみる						1 エ		○				○
4	一	手紙の下書きを見直し、誤って書かれて いる漢字を見付けて修正する	読み手の立場に立って、表記を確 かめて、文章を整えることができ るかどうかをみる					1 エ			○			○	
	三	手紙の下書きを見直し、修正した方が よい部分を見付けて修正し、修正した 方がよいと考えた理由を書く	読み手の立場に立って、語句の用 法、叙述の仕方などを確かめて、 文章を整えることができるかどう かをみる					1 エ			○				○

Ⅲ 調 査 問 題 の 解 説

(出題の趣旨、解説、解答類型等)

国語 1 案内文を書く（美術展のちらし）

- 1 第一中学校では、毎年、美術の時間につくった作品を展示する美術展を行っています。今年は、昨年の美術展に来場した小学生の感想をもとに、内容を工夫して開催します。実行委員の中井さんは、地域の小学校6年生に向けて、来場を促すためのちらしを作成することになりました。次は、中井さんが参考にした【第一中学校のウェブページ上のお知らせ】と、文書作成ソフトを用いて作成している【ちらし】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【第一中学校のウェブページ上のお知らせ】

第一

第一中学校

ホーム	学校紹介	行事予定	学校生活	保護者の方へ
-----	------	------	------	--------

行事のご案内

更新日 令和7年10月3日

美術展の開催のお知らせ

秋の恒例となった「第一中学校 美術展」を開催いたします。各学年の生徒たちは、美術展に向けて作品づくりに励んでおります。ご多忙とは存じますが、生徒たちの力作をご覧いただければ幸いです。ご来校をお待ちしております。

◆開催日時
令和7年11月15日（土） 10時～16時

◆開催場所
第一中学校 体育館

【ちらし】

第一中学校 美術展

毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。
私たちが美術の時間につくった作品を展示します。どれもかいしんの出来です。

今年は、中学生による作品の説明や小学生向けの体験コーナーもあります。体験コーナーでは、中学生と一緒に、好きな色のタイルを貼って自分だけのペン立てをつくることができます。

日 時 令和7年11月15日（土） 10時～16時
場 所 第一中学校 体育館

会場図

出入口

受付

1年生の作品
すいさいが
(水彩画)

2年生の作品
(ポスター)

体験コーナー
(ペン立てづくり)

3年生の作品
ちようこく
(彫刻)

体験できる時間（各回30分間）
①10時～ ②11時～ ③12時～ ④13時～

一 中井さんは、【ちらし】の——線部「かいしん」を漢字に変換しようとしています。漢字に変換したものとして最も適切なものを、次の1から3までの中から1つ選びなさい。

- 1 会心
- 2 改心
- 3 改新

二 中井さんは、【ちらし】に、【第一中学校のウェブページ上のお知らせ】には示されていない「会場図」を加えました。どのような目的で加えたと考えられますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 小学校6年生に向けたちらしであることを示すため。
- 2 ウェブページの情報と比較しやすくするため。
- 3 会場となる体育館まで迷わずに来てもらうため。
- 4 展示する作品と体験コーナーの内容や配置を伝えるため。

【ちらし】（更新版①）

第一中学校 美術展

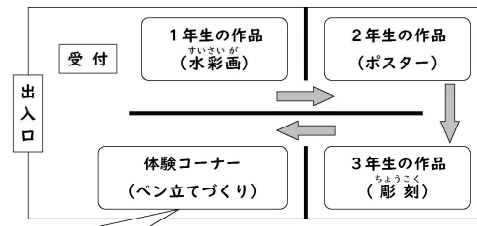


毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。
 私たちが美術の時間につくった作品を展示します。どれもかいしんの出来です。

今年は、中学生による作品の説明や小学生向けの体験コーナーもあります。
~~体験コーナーでは、中学生と一緒に、好きな色のタイルを貼って自分だけのペン立てをつくることができます。~~

日 時 令和7年11月15日（土） 10時～16時
 場 所 第一中学校 体育館

会場図



体験できる時間（各回30分間）
 ①10時～ ②11時～ ③12時～ ④13時～
 中学生と一緒に、好きな色のタイルを貼って自分だけのペン立てをつくることができます。

三 中井さんは、【ちらし】（更新版①）のように、——線の部分を削除して の中に書き加えました。その意図を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までのの中から1つ選びなさい。

- 1 具体例を示したあとに要点を示すことで、中心となる情報に対する読み手の理解を深めようとした。
- 2 伝えるべき事柄に見出しを付けることで、読み手に速やかに情報を伝えようとした。
- 3 情報を示す位置を整理することで、関連する情報を読み手がまとめて得られるようにした。
- 4 時間の流れに沿って情報を示すことで、読み手が必要とする情報を見付けやすくした。

【ちらし】（更新版②）

第一中学校 美術展

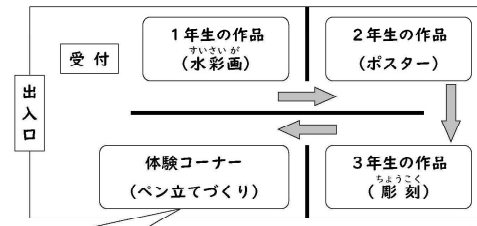


毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。
 私たちが美術の時間につくった作品を展示します。どれもかいしんの出来です。

今年は、中学生による作品の説明や小学生向けの体験コーナーもあります。

日 時 令和7年11月15日（土） 10時～16時
 場 所 第一中学校 体育館

会場図



体験できる時間（各回30分間）
 ①10時～ ②11時～ ③12時～ ④13時～
 中学生と一緒に、好きな色のタイルを貼って自分だけのペン立てをつくることができます。

第一小学校6年生のみなさんへ

四 今年の美術展では、昨年の美術展に來場した小学生の感想をもとに内容を工夫しています。中井さんは、そのことを【ちらし】（更新版②）の の部分に書き加えることにしました。あなたならどのように書きますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

- 条件1 今年の美術展の【工夫】のA、Bから1つ選び（どちらを選んでもかまいません。）、それと結び付く小学生の【感想の一部】をアからウまでのの中から1つ選び、それぞれ塗りつぶすこと。
- 条件2 条件1で選んだ、今年の美術展の【工夫】と小学生の【感想の一部】との関係が分かるように、接続する語句や指示する語句を使って書くこと。

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。
 解答は必ず解答用紙に書きなさい。

【工夫】

- A 作品に込めた思いや作品をつくる過程について、中学生が、来場者の求めに応じて説明する。
- B 昨年はおみやげにしていたペン立てを、今年は体験コーナーを設けて、小学生につくってもらう。中学生は、美術の時間に学んだことを生かし、手助けや助言をする。

【感想の一部】

- ア どうやってあんなすばらしい作品をつくったのか知りたくなりました。美術でどんなことを学べるのが楽しみです。
- イ いろいろな作品が展示されていて楽しかったです。思いのこもった作品が多いように感じました。
- ウ おみやげにペン立てをもらえてよかったです。手づくりだと聞いてびっくりしました。私もつくってみたいです。

【工夫】

【感想の一部】

㊸

㊹

㊺

㊻

㊼

← 選んだ【工夫】と【感想の一部】の記号を塗りつぶしなさい。

第一小学校6年生のみなさんへ

1. 出題の趣旨

案内文を書く場面において、次のことができるかどうかをみる。

- ・ 文脈に即して漢字を正しく使うこと
- ・ 目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること
- ・ 書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考えること
- ・ 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと

「B書くこと」の学習においては、「題材の設定、情報の収集、内容の検討」、「構成の検討」、「考えの形成、記述」、「推敲」、「共有」に関する各指導事項が示す資質・能力を身に付けることができるように、意図的・計画的に指導を重ねることが大切である。指導計画の作成に当たっては、書くことに関する資質・能力が確実に育成できるように、実際に文章を書く活動を多くすることが必要である。指導の際には、〔知識及び技能〕の各指導事項との関連を図るとともに、生徒が日常の書く活動に生かすことを意識しながら学習できるようにすることが重要である。

実用的な文章を書く言語活動を設定する際には、他教科等の学習や学校の教育活動全体との関連を図り、実際に書いて伝えたり、読み手の反応を受け取ったりすることができるよう工夫することが考えられる。行事等を案内する文章には、行事名、日時、場所、内容などのほか、参加してほしいといったお願いなど、必要な情報を漏れなく書く必要がある。その際、生徒が、相手や目的に応じて伝えるべき事柄を選択したり再構成したりして、簡潔に分かりやすく書くことができるよう指導することが大切である。

本問では、文書作成ソフトを使って、学校で行う美術展のちらしを作成する場面を設定した。文脈に即して漢字を正しく使ったり、読み手である地域の小学校6年生の立場に立って、情報を加えたり整理して示したりするとともに、特に伝えたいことについて根拠を明確にして書くことを求めている。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第1学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

イ 行事の案内や報告の文章を書くなど、伝えるべきことを整理して書く活動。

〔第2学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

イ 社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなど、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く活動。

(参考)

〔第3学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

イ 情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く活動。

2. 解説

設問一

趣旨

文脈に即して漢字を正しく使うことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第2学年〕 知識及び技能

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

ウ 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 《漢字》

■評価の観点

知識・技能

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
①	—	1	1と解答しているもの	◎
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、文脈に即して漢字を正しく使うことができている。「どれもかいしんの出来です。」の「かいしん」を漢字に変換すると、「心になんて満足すること」という意味の「会心」が適切であることを理解している。「会」は、小学校第2学年の配当漢字、「心」は小学校第2学年の配当漢字である。
- 【解答類型2、3】は、文脈に即して漢字を正しく使うことに課題がある。「どれもかいしんの出来です。」の「かいしん」について、文脈から意味を捉えることができなかったか、意味を捉えることはできたものの、「会心」、「改心」、「改新」のいずれを使うのか、正しく判断して選ぶことができなかったものと考えられる。

設問二

趣旨

目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第1学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

ア 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。 《題材の設定、情報の収集、内容の検討》

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
①	二	1	1と解答しているもの	
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	◎
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

○ 【解答類型1～3】は、目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることに課題がある。

- ・ 【解答類型1】は、【ちらし】の読み手が小学校6年生であることを捉えることはできているが、美術展の様子を具体的にイメージすることができるように「会場図」を加えていることを、捉えることができていないものと考えられる。
- ・ 【解答類型2】は、【第一中学校のウェブページ上のお知らせ】と【ちらし】とでは、想定している読み手が異なることを捉えることができず、ウェブページの情報と比較しやすくするために「会場図」を加えていると、誤って捉えたものと考えられる。
- ・ 【解答類型3】は、【ちらし】が地域の小学校6年生の来場を促すためのものであることは踏まえているが、会場となる体育館まで迷わずに来ることができるように「会場図」を加えていると、誤って捉えたものと考えられる。

○ 【解答類型4】は、目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。【ちらし】が地域の小学校6年生の来場を促すためのものであることを踏まえ、美術展の様子を具体的にイメージすることができるように「会場図」を加えていることを、捉えることができる。

設問三

趣旨

書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考
えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第1学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

イ 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を
考えること。 《構成の検討》

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
①	三	1	1と解答しているもの	◎
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

○ 【解答類型1、2、4】は、書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考えることに課題がある。

- ・ 【解答類型1】は、書く内容の中心を意識することはできているが、吹き出しの中に書き加えた内容が、中心となる情報の具体例とその要点であると誤って捉えたものと考えられる。
- ・ 【解答類型2】は、内容のまとまりを意識することはできているが、吹き出しの中に書き加えた内容が、伝えるべき事柄の見出しであると誤って捉えたものと考えられる。
- ・ 【解答類型4】は、事柄を示す順序を意識することはできているが、吹き出しの中に書き加えた内容が、情報を時間の流れに沿って示したものであると誤って捉えたものと考えられる。

なお、文章を書く目的や読み手に伝えたい内容によっては、選択肢1、2、4のような意図で構成や展開を検討する場合もある。

○ 【解答類型3】は、書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考えることができている。「体験コーナー」でできることを、体験できる時間と合わせて示すことで、「体験コーナー」に関連する情報を読み手がまとめて得られるようにしていることを捉えることができている。

設問四

趣旨

自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第1学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

ウ 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。

《考えの形成、記述》

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号	解答類型	正答
①	四 (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【工夫】のいずれか一方と、【感想の一部】のいずれか一つを選んで、選んだ記号を塗り潰している。 ② 選んだ【工夫】に結び付く【感想の一部】を選んでいる。 ③ 選んだ【工夫】の内容と【感想の一部】の内容を適切に取り上げて書いている。 ④ 接続する語句や指示する語句を用いて、選んだ【工夫】と【感想の一部】とを適切に関係付けて書いている。 (正答例) ・ A、ア 昨年の来場者から、どうやって作品をつくったのか知りたくなったという感想をもらいました。そこで、今年は中学生が作品について説明します。気になる作品があったら、ぜひ中学生に質問してください。 ・ A、イ 昨年、「思いのこもった作品が多いように感じました。」という感想をもらったので、今年は、作品にどんな思いをこめたのか、中学生が説明することになりました。心にひびく作品があったら、声をかけてくださいね。 ・ B、ア 今年は、ペン立てづくりの体験コーナーを設けています。昨年の来場者から、美術の授業が楽しみだという感想があったので、美術の時間に学習することを体験できる企画を考えました。興味がある人は、ぜひ参加してください。 ・ B、ウ 今年は、ペン立てづくりの体験コーナーを設けています。これは、昨年の参加者から、つくってみたいという感想をもらったからです。みなさんの参加をお待ちしています。	
1	条件①、②、③、④を満たして解答しているもの	◎
2	条件①、②、③を満たし、条件④を満たさないで解答しているもの	
3	条件①、②、④を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	
99	上記以外の解答	
0	無解答	

■解答類型について

○ 【解答類型1】は、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができる。自分が伝えたい今年の美術展の【工夫】と、それに結び付く小学生の【感想の一部】を選び、選んだ【工夫】と【感想の一部】との関係が分かるように、接続する語句や指示する語句を用いて書くことができる。

○ 【解答類型2、3】は、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことに課題がある。

- ・ 【解答類型2】は、自分が伝えたい今年の美術展の【工夫】と、それに結び付く小学生の【感想の一部】を選び、選んだ【工夫】の内容と【感想の一部】の内容を適切に取り上げて書くことはできているが、接続する語句や指示する語句を用いて、選んだ【工夫】と【感想の一部】とを適切に関係付けて書くことができていない。具体的な例としては、以下のようなものが考えられる。

(例)

・ A、イ

来場者の求めに応じて、中学生が作品について説明します。昨年の感想では、いろいろな作品が展示されていて楽しかったという声がありました。

・ B、ウ

昨年は、おみやげのペン立てを私もつくってみたいという感想をもらいましたが、今年は、体験コーナーで、自分でペン立てをつくることができます。

- ・ 【解答類型3】は、自分が伝えたい今年の美術展の【工夫】と、それに結び付く小学生の【感想の一部】を選び、接続する語句や指示する語句を用いて、選んだ【工夫】と【感想の一部】とを適切に関係付けて書くことはできているが、選んだ【工夫】の内容や【感想の一部】の内容を適切に取り上げて書くことができていない。具体的な例としては、以下のようなものが考えられる。

(例)

・ A、ア

昨年の来場者から、美術でどのようなことができるのか知りたくなったという感想をもらいました。そこで、今年は、中学生が来場者の求めに応じて説明します。美術部でどんなことが学べるのかが楽しみだという感想もありました。

・ B、ウ

おみやげにペン立てをもらえてよかったという感想があったので、今年は体験コーナーを設けて、小学生がペン立てをつくれるようにしました。美術の先生が指導してくれます。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
R4 2 三	農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える	46.5%	pp.19-27	pp.30-41
R5 3 四	『判じ絵』の解説の面白さ」と見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解説の仕方を書く	72.5%	pp.25-31	pp.48-60

国語 2 スピーチをする（活動のアイデアを発表する）

- 2 村田さんは、国語の時間に、学校の活動を地域に広げるアイデアについてスピーチをする学習に取り組んでいます。村田さんは、青木さんとあなたにスピーチのリハーサルを見てもらい、助言を求めています。次の【村田さんのスピーチ】と、〈スライド①〉から〈スライド⑤〉までを読んで、あとの問いに答えなさい。

【村田さんのスピーチ】

私は、「マリープロジェクト」をもとにしたアイデアを考えました。

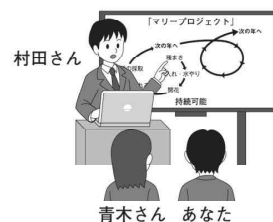
「マリープロジェクト」は、皆さんも知っているとおり、環境委員会が参加者を募って行っている、マリーゴールドを育てる活動です。参加したことがない人も、登下校のとき、きれいに咲いたマリーゴールドの花に、心が和んだこともあるのではないのでしょうか。マリーゴールドは、苗から育てることが多いのですが、この活動では、採取した種から育てています。

ここで、〈スライド①〉を提示

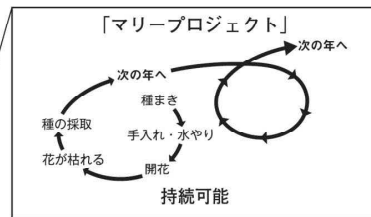
スライドに示したように、次の年、また次の年へとつながる、持続的な活動であることが、この活動の大きな特徴です。咲いた花を楽しむだけでなく、手入れをしながら成長を見守ることに魅力を感じ、私は、1年生のときからこの活動に参加しています。

ここで、〈スライド②〉を提示

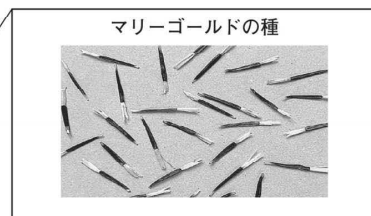
これは、実際に採取したマリーゴールドの種です。次のシーズンに学校で育てる分を確保したあと、家でも育てたい参加者は種をもらって帰ります。私も、種をもらって、家族と一緒に育てています。ただ、



〈スライド①〉



〈スライド②〉



みんなが持ち帰ったとしても、採取した種は残ってしまいます。……あ、1年間で採取した種のうち、半分以上は残ってしまうのですよ。そこで、考えたのが、今行っている活動を発展させた「つなごうマリープロジェクト」です。

ここで、〈スライド③〉を提示

このプロジェクトの長所は、まず、残ってしまう種を活用できることです。そして、地域の方にも、花を育てる楽しみを味わってもらえます。しかも、マリーゴールドの種は毎年採取できるので、このプロジェクトも持続可能です。

ここで、〈スライド④〉を提示

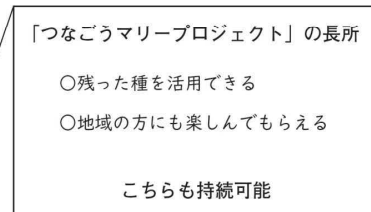
このプロジェクトの内容は、残った種を地域の希望者の方にも配るというものです。例えば、地域の方が来校する学校行事や、私たちが参加する地域の行事などで配りたいと思います。育ててくださる地域の方のために、残った種から発芽しやすいものを選び、育て方のポイントを書いたカードと一緒に渡します。

ここで、〈スライド⑤〉を提示

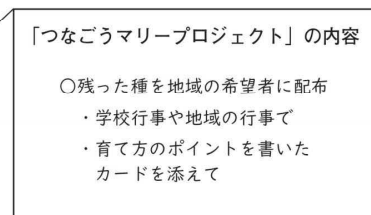
今行っている活動を工夫することで、私たちのマリーゴールドと、花を育てる楽しみが地域にも広がります。学校と地域が、マリーゴールドでつながったら、すてきだと思います。

これで、私の発表を終わります。

〈スライド③〉



〈スライド④〉



〈スライド⑤〉



一 村田さんは、【村田さんのスピーチ】の——線部㉔「スライドに示したように、次の年、また次の年へとつながる、持続的な活動であることが、この活動の大きな特徴です。」のように、スライドを使って話しています。このときの村田さんの話し方を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 聞き手の印象に残るように、スライドで意見だけを要約して示しながら、意見とそれを支える根拠を話している。
- 2 聞き手によって経験が違うことを考慮して、スライドで補足の情報を示しながら、話の要点を絞って話している。
- 3 聞き手が興味をもつように、スライドで異なる視点からの情報を示しながら、自分の主張を繰り返し話している。
- 4 聞き手からの質問を想定して、スライドで質問に対する回答を示しながら、自分の立場と考えを話している。

二 【村田さんのスピーチ】の——線部㉕「……あ、1年間で採取した種のうち、半分以上は残ってしまうのですよ。」は、村田さんがその場で考えて発した言葉です。村田さんがこのように発言した理由を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 聞き手の反応から、種をもらう参加者が何人くらいいるのか、疑問を感じていると判断したから。
- 2 聞き手の反応から、採取した種が残ってしまう理由を理解することができていないと判断したから。
- 3 聞き手の反応から、種をもらう参加者の目的を理解することができていないと判断したから。
- 4 聞き手の反応から、採取した種がどのくらい残るのか、疑問を感じていると判断したから。

三 リハーサルのと、青木さんは、「『つなごうマリープロジェクトの長所』の話と『つなごうマリープロジェクトの内容』の話の順序を入れ替えた方がよいと思います。」という助言をしました。その意図を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 村田さんが考えたプロジェクトの長所は、プロジェクトの内容を把握してから聞いた方がよく理解できると考えられるから。
- 2 村田さんが考えたプロジェクトの内容は、残った種の写真を見ながら聞いた方がよく理解できると考えられるから。
- 3 村田さんが考えたプロジェクトの長所は、異なる立場からの意見と関連付けて話した方が伝わりやすいと考えられるから。
- 4 村田さんが考えたプロジェクトの内容は、もともとなった活動の長所の直後に話した方が伝わりやすいと考えられるから。

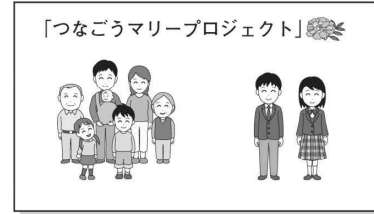
四 村田さんは、【村田さんのスピーチ】の [] の内容をより分かりやすく伝えるために、〈スライド⑤〉を工夫したいと考え、あなたに助言を求めています。あなたなら、どのような助言をしますか。あとの【工夫の仕方】のAからCまでの中から1つ選び（どの【工夫の仕方】を選んでもかまいません。）、条件1と条件2にしたがって、村田さんへの助言を書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

【村田さんのスピーチ】の []

今行っている活動を工夫することで、私たちのマリーゴールドと、花を育てる楽しみが地域にも広がります。学校と地域が、マリーゴールドでつながったら、すてきだと思いませんか。

〈スライド⑤〉



【工夫の仕方】

- A 〈スライド⑤〉に、言葉を加える。
- B 〈スライド⑤〉のイラストを修正したり、イラストを付け加えたりする。
- C AとBとを組み合わせる。

条件1 選んだ【工夫の仕方】について、どのように工夫するかを、具体的に書くこと。

条件2 条件1で工夫したことにより、どのように分かりやすくなるかについて、[] の内容を具体的にに取り上げて書くこと。

※ 下の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

【工夫の仕方】

A	B	C	← 選んだ【工夫の仕方】の記号を塗りつぶしなさい。

1. 出題の趣旨

スピーチで考えを提案する場面において、次のことができるかどうかをみる。

- ・ 資料や機器を用いた話し方の工夫を捉えること
- ・ 相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること
- ・ 自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫すること
- ・ 資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること

「A話すこと・聞くこと」の学習においては、「話題の設定、情報の収集、内容の検討」、「構成の検討、考えの形成（話すこと）」、「表現、共有（話すこと）」、「構造と内容の把握、精査・解釈、考えの形成、共有（聞くこと）」、「話合いの進め方の検討、考えの形成、共有（話し合うこと）」に関する各指導事項が示す資質・能力を身に付けることができるように、意図的・計画的に指導を重ねることが大切である。

言語活動例の各学年のアには、紹介や報告、説明や提案、主張など、話し手がある程度まとまった話をし、それを聞いて、聞き手が質問や意見、助言、評価などを述べる活動が例示されている。こうした言語活動を行う際には、何のために、誰を対象に、どのような状況で話すのかを具体的に考え、設定した話題や検討した内容が、それらに合っているかどうかを判断することが必要である。また、自分の立場や考えが明確になるように話の構成を考えることを通して、自分の考えを形成することや、それが聞き手に分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるよう指導することが重要である。スピーチで考えを提案するのであれば、提案が、聞き手に何らかの行動を促すために自分の考えを示し、意見を求めるものであることを踏まえ、聞き手の話の受け止め方や理解の状況を捉えて表現を工夫したり、資料や機器を用いて自分の考えが分かりやすく伝わるように工夫したりすることがより重要になる。

本問では、国語の授業において、学校の活動を地域に広げるアイディアについて提案するスピーチをするに当たり、友達にリハーサルを見てもらい、助言を求める場面を設定した。スライドを使った話し方の工夫や聞き手の反応を踏まえた話し方の工夫を捉えるとともに、自分の考えが分かりやすく伝わるように、話す事柄の順序を考えたり、スライドを用いて表現を工夫したりすることを求めている。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第1学年〕 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと

ア 紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする活動。

〔第2学年〕 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと

ア 説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする活動。

(参考)

〔第3学年〕 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと

ア 提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする活動。

2. 解説

設問一

趣旨

資料や機器を用いた話し方の工夫を捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第2学年〕 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと

ウ 資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。
《表現、共有（話すこと）》

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正 答
②	一	1	1と解答しているもの	◎
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1、3、4】は、資料を用いた話し方の工夫を捉えることに課題がある。
- ・ 【解答類型1】は、——線部㉑について、村田さんが、意見とそれを支える根拠が聞き手の印象に残るように話していると誤って捉えたものと考えられる。また、スライドに示された内容が、意見だけを要約して示したものと誤って捉えたものと考えられる。
 - ・ 【解答類型3】は、——線部㉑について、村田さんが、自分の主張を繰り返して、聞き手が興味をもつように話していると誤って捉えたものと考えられる。また、スライドに示された内容が、異なる視点からの情報を示したものと誤って捉えたものと考えられる。
 - ・ 【解答類型4】は、——線部㉑について、村田さんが、聞き手からの質問を想定して、自分の立場と考えを話していると誤って捉えたものと考えられる。また、スライドに示された内容が、質問に対する回答を示したものと誤って捉えたものと考えられる。
- 【解答類型2】は、資料を用いた話し方の工夫を捉えることができている。——線部㉑について、村田さんが、聞き手によって経験が違ふことを考慮して、話の要点を絞って話していることを捉えることができている。また、活動に参加した経験がない人にも話を理解してもらえるように、補足の情報として活動の内容が分かる図をスライドで示していることを捉えることもできている。

設問二

趣旨

相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第1学年〕 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと

ウ 相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。 《表現、共有（話すこと）》

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
②	二	1	1と解答しているもの	
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	◎
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

○ 【解答類型1～3】は、相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することに課題がある。

・ 【解答類型1】は、「ただ、みんなが持ち帰ったとしても、採取した種は残ってしまいます。」の部分聞いた相手が、「種をもらう参加者が何人くらいいるのか」という疑問を感じているものと村田さんが判断したため、——線部④のように発言したと誤って捉えたものと考えられる。

・ 【解答類型2】は、「ただ、みんなが持ち帰ったとしても、採取した種は残ってしまいます。」の部分聞いた相手が、採取した種が残ってしまう理由を理解することができていない状況にあるものと村田さんが判断したため、——線部④のように発言したと誤って捉えたものと考えられる。

・ 【解答類型3】は、——線部④の村田さんの発言が、「ただ、みんなが持ち帰ったとしても、採取した種は残ってしまいます。」の部分に対する聞き手の反応を踏まえたものであるということを捉えることができていないものと考えられる。

○ 【解答類型4】は、相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができている。「ただ、みんなが持ち帰ったとしても、採取した種は残ってしまいます。」の部分聞いた相手が、「採取した種がどのくらい残るのか」という疑問を感じているものと村田さんが判断したため、——線部④のように発言したことを捉えることができている。

設問三

趣旨

自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫することができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第2学年〕 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと

イ 自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫すること。 《構成の検討、考えの形成（話すこと）》

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
②	三	1	1と解答しているもの	◎
		2	2と解答しているもの	
		3	3と解答しているもの	
		4	4と解答しているもの	
		99	上記以外の解答	
		0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫することができている。「つなごうマリープロジェクトの長所」の話と「つなごうマリープロジェクトの内容」の話の順序を入れ替えることで、村田さんの考える「つなごうマリープロジェクトの長所」が、聞き手にとって理解しやすくなることを捉えることができている。
- 【解答類型2～4】は、自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫することに課題がある。
- ・ 【解答類型2】は、「つなごうマリープロジェクトの長所」の話と「つなごうマリープロジェクトの内容」の話の順序を入れ替えることで、話の展開がどのように変わるのかを捉えることができていないものと考えられる。また、話している内容とスライドとの関係を捉えることができていないものと考えられる。
 - ・ 【解答類型3】は、「つなごうマリープロジェクトの長所」の話と「つなごうマリープロジェクトの内容」の話の順序を入れ替えることで、話の展開がどのように変わるのかを捉えることができていないものと考えられる。また、村田さんが、「つなごうマリープロジェクトの内容」の話をあとの、「異なる立場からの意見」について話していると誤って捉えたものと考えられる。

- ・ 【解答類型4】は、「つなごうマリープロジェクトの長所」の話と「つなごうマリープロジェクトの内容」の話の順序を入れ替えることで、話の展開がどのように変わるのかを捉えることができていないものと考えられる。また、村田さんが、「つなごうマリープロジェクトの内容」の話の前に、「もとになった活動の長所」について話していると誤って捉えたものだと考えられる。

設問四

趣旨

資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第2学年〕 思考力、判断力、表現力等 A 話すこと・聞くこと

ウ 資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。 《表現、共有（話すこと）》

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号	解答類型	正答
②	四 (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【工夫の仕方】のA、B、Cのいずれか一つを選んで、その記号を塗り潰している。 ② 選んだ【工夫の仕方】について、どのように工夫するかを具体的に書いている。 ③ 工夫することで、どのように分かりやすくなるかを書いている。 ④ ③について、 の内容を適切に取り上げて書いている。 (正答例) ・A スライドの下之余白に、「花を育てる楽しみを地域へ」と書き加える。そうすることで、花を育てる楽しみが地域にも広がることが強調されて伝わりやすくなる。 ・B 地域の人たちと中学生が、笑顔でマリーゴールドの手入れをしているイラストに変更すると、「学校と地域が、マリーゴールドでつながった」ときの様子が、視覚的にもよく伝わると思います。 ・C 中学生が地域の方に種を手渡しているイラストに修正して、その下に、「花を育てる楽しみを地域へ」と書き加えると、残った種を活用した活動で花を育てる楽しみを広げようとしていることが、より分かりやすくなると思うよ。	
1	条件①、②、③、④を満たして解答しているもの	◎
2	条件①、②、③を満たし、条件④を満たさないで解答しているもの	
3	条件①、③、④を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	
99	上記以外の解答	
0	無解答	

■解答類型について

○ 【解答類型1】は、資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができている。【村田さんのスピーチ】の の内容のうち、より分かりやすく伝えたい部分を取り上げ、その部分に対応するスライドの工夫を具体的に考えるとともに、そのように工夫する意図を明確にすることができている。

【工夫の仕方】としてAを選んだ場合は、スライドに書き加える言葉と、その言葉を書き加えることで の中のどのような内容が分かりやすくなるかを具体的に書く必要がある。【工夫の仕方】としてBを選んだ場合は、イラストをどのように修正するかについての説明、または、どのようなイラストを付け加えるかについての説明と、そのようにすることで の中のどのような内容が分かりやすくなるかを具体的に書く必要がある。【工夫の仕方】としてCを選んだ場合は、スライドに書き加える言葉と、イラストをどのように修正するかについての説明、または、どのようなイラストを付け加えるかについての説明、また、そのようにすることで、 の中のどのような内容が分かりやすくなるかを具体的に書く必要がある。

○ 【解答類型2、3】は、資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することに課題がある。

- ・ 【解答類型2】は、選んだ【工夫の仕方】について、どのように工夫するかを具体的に書くことと、工夫することでどのように分かりやすくなるかを書くことはできているが、【村田さんのスピーチ】の [] の内容のうち、どの部分をより分かりやすく伝えたいかを明確にすることができていない。具体的な例としては、以下のようなものが考えられる。

(例)

・ A

スライドの下之余白に、「花を育てる楽しみを地域へ」と書き加える。そうすることで、強調されるし分かりやすくなる。

・ B

地域の方と中学生のイラストを、マリーゴールドの花のイラストで丸く取り囲むようにすると、今行っている活動がすてきだということが伝わる。

- ・ 【解答類型3】は、【村田さんのスピーチ】の [] の内容のうち、どの部分をより分かりやすく伝えたいかを明確にし、選んだ【工夫の仕方】によってどのように分かりやすくなるかを書くことはできているが、スライドをどのように工夫するか、具体的に書くことができていない。具体的な例としては、以下のようなものが考えられる。

(例)

・ A

言葉を書き加えると、学校と地域がマリーゴールドでつながることが明確に伝わる。

・ B

学校と地域とがマリーゴールドでつながることが明確に伝わるように、イラストを修正した方がよいと思う。

・ C

地域の人たちと中学生が、笑顔でマリーゴールドの手入れをしているイラストに変更すると、「学校と地域が、マリーゴールドでつながった」ときの様子が、視覚的にもよく伝わると思います。

(【工夫の仕方】としてCを選んだ場合は、スライドに書き加える言葉と、イラストをどのように修正するかについての説明、または、どのようなイラストを付け加えるかについての説明、また、そのようにすることで [] の中のどのような内容が分かりやすくなるかを具体的に書く必要があるが、スライドに書き加える言葉を具体的に書いていない)

国語 3 文学的な文章を読む（「二人の兄弟」）

3 次の文章は、島崎藤村が書いた「二人の兄弟」という物語です。この物語は、「根木の実」「二釣の話」で構成されています。これを読んで、あとの問いに答えなさい。



（島崎藤村「二人の兄弟」による）

（島崎藤村「二人の兄弟」による）

- （注1） 根木Ⅰアカ科の落葉樹。高い木に育つ。
（注2） 奉公Ⅰその家に雇われて住み込みで働くこと。
（注3） 根島Ⅰカラス科の鳥である「カケス」の別称。
（注4） 庶Ⅰまだら。ぶち。
（注5） お茶さまⅠカイコガ科のガの幼虫の丁寧な言い方。まゆから頭を出る。
（注6） 獣Ⅰカジカ科の鳥。

- 一 「根木の実」の線部が、物語の始めに示されていることによる効果を説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。
- 1 語り手が読者に、根木の実に関する経緯を問うことによって、一人の兄弟の相互関係に関心をもたせる効果。
2 語り手が読者に、根木の実に関する経緯を問うことによって、根木の実にまつわる物語に関心をもたせる効果。
3 語り手が読者に、兄弟や家族との関係を問うことによって、二人の兄弟の相互関係に関心をもたせる効果。
4 語り手が読者に、兄弟や家族との関係を問うことによって、根木の実にまつわる物語に関心をもたせる効果。

二 ―線部①「二人の兄弟」は、この物語の中でどのような性格の人物として描かれていますか。二 榎木の実」と「二 釣の話」を通して分かる性格を、それぞれ書きなさい。

三 ―線部②「しきりと」の意味として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

- 1 寂しげに
- 2 改めて
- 3 何度も
- 4 注意深く

四 「――」で囲まれた部分には、兄弟が目的を達成できなかった場面のもとに続く話が書かれています。あとに続く話は「二 榎木の実」にはありますが、「二 釣の話」にはありません。このような展開になっていることは、「二人の兄弟」という物語においてどのような効果があると考えますか。あなたの考えとその理由を具体的に書きなさい。理由を書く際には、物語の内容を取り上げて書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 出題の趣旨

文学的な文章を読む場面において、次のことができるかどうかをみる。

- ・ 表現の効果について、根拠を明確にして考えること
- ・ 文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えること
- ・ 事象や行為を表す語句について理解すること
- ・ 文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えること

「C読むこと」の学習においては、「構造と内容の把握」、「精査・解釈」、「考えの形成、共有」に関する各指導事項を身に付けることができるように、意図的・計画的に指導を重ねることが大切である。教材については、各学年で説明的な文章や文学的な文章などの文章の種類を調和的に取り扱う必要がある。また、[知識および技能]の「(3)我が国の言語文化に関する事項」に位置付けられている「読書」に関する指導事項との関連を図り、生徒の日常の読書活動に結び付くように指導することも重要である。

文学的な文章を読むためには、言葉を手掛かりにしながら文脈をたどり、観点を定めて読むことが必要であり、そのことによって深い理解や感動が得られる。また、文章全体や部分における構成や展開を把握した上で、なぜそのような構成や展開になっているのか、そのことがどのような効果につながるのかなど、自分なりの意味付けをすることも重要である。

本問では、島崎藤村の「二人の兄弟」を取り上げた。この物語は「一 榎木の実」、「二 釣の話」で構成されている。「一 榎木の実」には失敗した場面のもとに成功する場面が描かれているのに対し、「二 釣の話」は失敗談で終わっている。このような文章を読んで、叙述を基に登場人物の性格を捉えたり、語句の意味を理解したりするとともに、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることを求めている。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第1学年〕 思考力、判断力、表現力等 C 読むこと

イ 小説や随筆などを読み、考えたことなどを記録したり伝え合ったりする活動。

〔第2学年〕 思考力、判断力、表現力等 C 読むこと

イ 詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。

(参考)

〔第3学年〕 思考力、判断力、表現力等 C 読むこと

イ 詩歌や小説などを読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。

2. 解説

設問一

趣旨

表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第1学年〕 思考力、判断力、表現力等 C 読むこと

エ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。

《精査・解釈》

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号	解答類型	正答
3	1 1と解答しているもの	◎
	2 2と解答しているもの	
	3 3と解答しているもの	
	4 4と解答しているもの	
	99 上記以外の解答	
	0 無解答	

■解答類型について

○ 【解答類型1、3、4】は、文章中の表現の効果について、根拠を明確にして考えることに課題がある。

- ・ 【解答類型1】は、冒頭の三文が、榎木の実に関する読者の経験を問うものであるということを読み取れているが、それによる表現の効果について適切に捉えることができていないものと考えられる。
- ・ 【解答類型3】は、「二人の兄弟」という表題や物語の内容から、冒頭の三文が、兄弟や家族との関係を問うものであると誤って捉えたものと考えられる。そのため、表現の効果についても適切に捉えることができていないものと考えられる。

- ・ 【解答類型4】は、「二人の兄弟」という表題や物語の内容から、冒頭の三文が、榎木の実に関する読者の経験を話題にしながら、兄弟や家族との関係を問うものであると誤って捉えたものと考えられる。そのため、この問いかけが物語の始めに示されることで、「榎木の実にまつわる物語に関心をもたせる効果」があると判断したものと考えられる。
- 【解答類型2】は、文章中の表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。冒頭で、榎木の実に関する読者の経験を問う文を重ねることによって、「榎木の実にまつわる物語に関心をもたせる効果」があることを捉えることができる。

(参考)

○関連する問題

【小学校】

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
R4[2]三	【山村さんの文章】の B に入る内容として適切なものを選択する	59.4%	pp.21-29	pp.33-47

2

森田さんの学級では、不思議な出来事が描かれている物語を読み、友達とすいせんし合うことになりました。森田さんは、「銀色の幻想」という題名の物語を選んで読み、気になるところにふせんを貼っています。次は、「物語のこれまでのあらすじ」と「物語の一部」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

森田さん

森田さん

【物語のこれまでのあらすじ】

学校の帰りに、自分と同じ名前の H・R・O・K・I 模型店を見つけた。一歩その店の入口に近づくと、ドアが音もなく開き、カウンターのすみに座っている老人が、やけになれなれしく「よお」と手をあげた。店の中は、宇宙船などの模型で占められていた。

【物語の一部】※

部 A からオ、……部 ①から③は、あとの問いで取り上げられます。

(略)

(那須田淳「銀色の幻想」による)

二

森田さんは、物語から伝わってくることをまとめ、すいせんする文章を書いています。次は、「森田さんの文章」です。あなたが森田さんなら A に入る内容を、どのように書きますか。おどの条件に合わせて書きましょう。

【森田さんの文章】

これは、過去や未来にいくるうちう船を作りたいと思っている「ぼく」と、そんなうちう船を作った「老人」の物語です。
この物語は、「老人」が未来の「ぼく」かもしれないと思わせる表現をさがして読む楽しさを味わうことができます。それだけでなく、この物語を読むと、わたしは前向きな気持ちになります。なぜかという、「老人」に出会った「ぼく」を通して、この物語がわたしに伝えてくれることがあるからです。それは、

A

（条件）

○ この物語から伝わってくることを考えて書くこと。
○ 十字以上、三十字以内にとめて書くこと。

※ 左の専用紙は下書き用なので、使っても使わなくても構いません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※ ◆の印から書きましょう。どちらの行を変えないで、続けて書きましょう。

30字

30字

三

同じ学級の山村さんも、「銀色の幻想」を読み、すいせんする文章を書いています。次の「山村さんの文章」の B の中に入る内容として最も適切なものを、あとの1から4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【山村さんの文章】

この物語は、主人公の「ぼく」が自分と同じ名前の古い店で「老人」と出会うことから始まる。「老人」は、未来の「ぼく」のすがたかもしれないのだが、読者にそう思わせる表現が文章全体に散りばめられている。そのため、読み進めるうちに、物語の世界にどんどん引きこまれていく。そして、最後の一文「ただ、透明な空の青さのなかで、ススキの穂波が銀色に光り、風にそよいでいるだけだった。」は、

B

読み終わった後も物語の世界にひたることができるとおすすめの作品だ。

1

色の表現を使い、季節が変わったことを印象づけている。

2

「ぼく」が体験した信じられないような出来事を印象づけている。

3

空と風を表す表現を使い、「ぼく」が宇宙に行った不思議さを印象づけている。

4

「ぼく」が過去から現在にもどってきた安心感を印象づけている。

- 33 -

【中学校】

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
R5 4三	現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く	50.5%	pp.32-36	pp.61-69

設問二

趣旨

文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第2学年〕 思考力、判断力、表現力等 C 読むこと

ア 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示の関係や登場人物の設定の仕方を捉えること。 《構造と内容の把握》

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号	解答類型	正答
3 二	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 兄の欄に「気が長い」のように解答している。 ② 弟の欄に「気が短い」のように解答している。	
	1 条件①、②を満たして解答しているもの	◎
	2 条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	
	3 条件②を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	
	99 上記以外の解答	
	0 無解答	

■解答類型について

○ 【解答類型1】は、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができています。「一 榎木の実」と「二 釣の話」を通して、「兄」が「気が長い」性格、「弟」が「気が短い」性格の人物として設定されていることを捉えることができています。

○ 【解答類型2、3】は、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることに課題がある。

- ・ 【解答類型2】は、「兄は弟と違って気長な子供でしたから」や「兄はゆっくり構えて釣っていたものですから」などの叙述から、「兄」が「気が長い」性格の人物として設定されていることを捉えることはできているが、「弟」がどのような性格の人物として設定されているかを捉えることはできていない。

- ・ 【解答類型3】は、「弟は気の短い子供で」や「ほんとに釣れるまで待っていられませんでした」などの叙述から、「弟」が「気が短い」性格の人物として設定されていることを捉えることはできているが、「兄」がどのような性格の人物として設定されているかを捉えることはできていない。

設問三

趣旨

事象や行為を表す語句について理解しているかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第1学年〕 知識及び技能

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 《語彙》

■評価の観点

知識・技能

解答類型

問題番号		解 答 類 型			正答
③	三	1	1と解答しているもの		
		2	2と解答しているもの		
		3	3と解答しているもの		
		4	4と解答しているもの		
		99	上記以外の解答		
		0	無解答		

■解答類型について

- 【解答類型1、2、4】は、「しきりと」という語句の意味の理解に課題がある。「しきりと」という言葉になじみがなく、意味が理解できていないものと考えられる。そのため、「しきりと」という言葉がもつ意味ではなく、「兄」が「木の下を探し廻る」様子を自分なりに想像して、選択肢1、2、4のような意味だと誤って捉えたものとも考えられる。
- 【解答類型3】は、「しきりと」という語句の意味について理解している。「しきりと」は「何度も」、「熱心に」などの意味をもつ。

設問四

趣旨

文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第1学年〕 思考力、判断力、表現力等 C 読むこと

エ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。

《精査・解釈》

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号	解答類型	正答
③	四	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① どのような効果があるかを書いている。 ② ①のように考えた理由を、「 」の部分のような『あとに続く話』が、『一榎木の実』にはあるが、『二 釣の話』にはない」という展開を踏まえて書いている。 ③ ②について、物語の内容を適切に取り上げて書いている。 ~~~~~ (正答例) ・ 読者の意表を突く効果がある。なぜなら、「一 榎木の実」には、失敗した兄弟が、お爺さんのおかげで成功する場面が書かれているため、「二 釣の話」も同じような展開になると予想して読み進める読者が多いと思うからだ。 ・ 気長な兄と気の短い弟は、「一 榎木の実」では、失敗したあとお爺さんのおかげで成功するが、「二 釣の話」で、また同じ原因で失敗する。このような展開によって、人の性格はなかなか変わらないということが強調されている。 ・ 読者に物語の続きを想像させる効果がある。なぜなら、「一 榎木の実」では、お爺さんの教えによって、二人は好い実を拾うことができたが、「二 釣の話」では、魚は釣れず、お爺さんに失敗の原因を指摘されただけで話が終わっているので、その後、二人が目的を達成できたのかどうか気になるからだ。
	1	条件①、②、③を満たして解答しているもの ◎
	2	条件①、②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの
	3	条件①、③を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの
	99	上記以外の解答
	0	無解答

■解答類型について

○ 【解答類型1】は、文章の展開について、根拠を明確にして考えることができている。「二人の兄弟」という作品は、「一 榎木の実」には兄弟が目的を達成できなかった場面のあとに続く話が書かれているが、「二 釣の話」には書かれていない。このような展開になっていることによってどのような効果があると考えられるか、自分の考えを具体的に書くことができている。また、そのように考えた理由を、文章の内容を適切に取り上げて書くことができている。

○ 【解答類型 2、3】は、文章の展開について、根拠を明確にして考えることに課題がある。

- ・ 【解答類型 2】は、本問で着目している展開について、その効果を書くことはできているが、物語の内容を適切に取り上げて書くことができていない。具体的な例としては、以下のようなものが考えられる。

(例)

- ・ 「一 榎木の実」で、兄弟は、好い実を拾うにはタイミングが大切だと知ったはずなのに、「二 釣の話」では失敗して終わっているので、人の性格はなかなか変わらないということを強調する効果がある。どちらの話でも、兄弟は目的を達成することができなかった。

- ・ 【解答類型 3】は、文章の展開の効果について書くことができています。しかし、理由を書く際、物語の内容を取り上げているものの、本問で着目している展開を踏まえて書くことができていない。具体的な例としては、以下のようなものが考えられる。

(例)

- ・ 「一 榎木の実」に榎木の木が出てきて、「二 釣の話」に胡桃の木が出てくることにより、読者に豊かな自然を思い浮かべさせる効果がある。

(参考)

○関連する問題

【小学校】

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
R4 2 二	物語から伝わってくることを考え、【森田さんの文章】の A に入る内容を書く	68.5%	pp.21-29	pp.33-47

※問題の画像は p.33に掲載。

【中学校】

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
R5 4 三	現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く	50.5%	pp.32-36	pp.61-69

3. 出典等

島崎藤村「二人の兄弟」(西本鶏介編『現代日本児童文学傑作選 1』1980年 5 月 講談社)による。

国語 4 手紙を推敲する（職場体験活動のお礼状）

4 三上さんは、職場体験活動でお世話になった生花店の店長の大野さんに、お礼の手紙を書いています。次は、三上さんが推敲している途中の【手紙の下書きの一部】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【手紙の下書きの一部】

先日、
さて、昨日は、私たちの職場体験活動に協力してくれましたありがとうございました。大野さんをはじめ、お店の皆さんに親切に指導してもらい、多くの学びを得ることができました。
この体験活動をするまで、私は、生花店で働くことについて、華やかなイメージしかもっていなかったのですが、皆さんに教わりながら、一つ一つ仕入れた商品を下処理したり、葉や花びらが落ちていないように気を付けたり、花を長持ちさせる方法や花言葉を勉強したりすることを通して、華やかさの裏には、それを支える作業や専門的な知識があることを知りました。

一 三上さんは、【手紙の下書きの一部】に、一箇所、漢字の誤りがあることに気付きました。三上さんの修正の仕方を参考にして、誤って書かれている漢字を線で消し、消した漢字の右横に、正しい漢字を書きなさい。

※ 次のページの【手紙の下書きの一部】の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

二 三上さんは、さらに推敲を重ねようとしています。あなたなら、【手紙の下書きの一部】の、どの部分をどのように修正しますか。三上さんの修正の仕方を参考にして、次の条件1から条件3にしたがって書きなさい。

条件1 修正した方がよい部分は複数ありますが、言葉の使い方や叙述の仕方などについて、あなたが特に修正した方がよいと考える部分を一つ選ぶこと。なお、【手紙の下書きの一部】の内容は、変わらないようにすること。

条件2 修正する際は、削除したり書き直したりしたい部分を線で消し、書き直す場合は、消した言葉の右横に、どのように直すのかを書くこと。

条件3 修正した方がよいと考えた理由を具体的に書くこと。なお、読み返して文章を直したいときは、線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

※ 次のページの【手紙の下書きの一部】と【理由】の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

【手紙の下書きの一部】

先日、
さて、昨日は、私たちの職場体験活動に協力してくれましたありがとうございました。大野さんをはじめ、お店の皆さんに親切に指導してもらい、多くの学びを得ることができました。
この体験活動をするまで、私は、生花店で働くことについて、華やかなイメージしかもっていなかったのですが、皆さんに教わりながら、一つ一つ仕入れた商品を下処理したり、葉や花びらが落ちていないように気を付けたり、花を長持ちさせる方法や花言葉を勉強したりすることを通して、華やかさの裏には、それを支える作業や専門的な知識があることを知りました。

【理由】

1. 出題の趣旨

お礼の手紙を書く場面において、次のことができるかどうかをみる。

- ・ 読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えること
- ・ 読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること

「推敲」は、文章を書き上げる過程で、読み手の立場に立ち、自分が書いた文章について捉え直し、分かりやすい文章に整える行為である。中学校第1学年では、小学校での学習を踏まえ、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるようにすることが求められている。そうした推敲の仕方を身に付けた上で、第2学年では、表現の効果などを、第3学年では、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて文章を整えることができるようにすることが求められている。その際、文章を読み返す視点を明確にして、身に付けている知識や技能を生かしながら、よりよい文章に整えることができるように指導することが大切である。

本問では、職場体験活動でお世話になった事業所の方にお礼の手紙を書く場面を設定した。手紙の下書きを読んで、漢字の誤りを見付けて正しく直したり、手紙の内容が読み手によりよく伝わるように、修正した方がよい部分を見付けて文章を整えたりすることを求めている。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第1学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

イ 行事の案内や報告の文章を書くなど、伝えるべきことを整理して書く活動。

〔第2学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

イ 社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなど、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く活動。

(参考)

〔第3学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

イ 情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く活動。

2. 解説

設問一

趣旨

読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第1学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

エ 読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること。 《推敲》

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号	解 答 類 型	正 答
4	一 (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 誤って書かれている漢字として、「問」を線で消している。 ② 正しい漢字として、「問」の右横に「門」と書いている。 (正答例) 【手紙の下書きの一部】 先日 さて、昨日は、私たちの職場体験活動に協力してくださり、 はじめ、お店の皆さんに親切に指導してもらい、多くの学びを得ることができました。大野さんを この体験活動をするまで、私は、生花店で働くことについて、華やかなイメージしかもって いなかったのですが、皆さんに教わりながら、一つ一つ仕入れた商品を下処理したり、葉や花びら が落ちていないように気を付けたり、花を長持ちさせる方法や花言葉を勉強したりすること を通して、華やかさの裏には、それを支える作業や専門的な知識があることを知りました。	
1	条件①、②を満たして解答しているもの	◎
2	条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	
99	上記以外の解答	
0	無解答	

■解答類型について

- 【解答類型1】は、読み手の立場に立って表記を確かめ、文章を整えることができている。
「専門的」の「問」が誤っていることに気付き、「門」と正しく書くことができている。「門」は、小学校第2学年の配当漢字である。
- 【解答類型2】は、読み手の立場に立って表記を確かめ、文章を整えることに課題がある。
「専門的」の「問」が誤っていることには気付いているが、「門」と正しく書くことができていない。漢字の書きの知識が十分に身に付いていないものと考えられる。

設問二

趣旨

読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第1学年〕 思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

エ 読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること。 《推敲》

■評価の観点

思考・判断・表現

解答類型

問題番号	解 答 類 型	正 答
4	二	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 削除したり書き直したりしたい部分を一つ決めて、以下のような適切な修正をしている。 a 長い文を修正している。 b 語句を修正している。 c 語順を修正している。 ② 修正した方がよいと考えた理由を、誤りなく具体的に書いている。
1	条件①a、②を満たして解答しているもの (例)	◎

文が長い
ため、
読み
づらく、
体験
活動
の前
と後
での
変化
も伝
わり
に
くい
から。

【理由】

が落ちていないように気を付けたり、花を長持ちさせる方法や花言葉を勉強したりすることを通して、華やかさの裏には、それを支える作業や専門的な知識があることを知りました。

この体験活動をするまで、私は、生花店で働くことについて、華やかなイメージしかもっていませんでした。しかし、いかに華やかでも、皆さんに教わりながら、一つ一つ仕入れた商品を下処理したり、葉や花びらが落ちていないように気を付けたり、花を長持ちさせる方法や花言葉を勉強したりすることを通して、華やかさの裏には、それを支える作業や専門的な知識があることを知りました。

はじめ、お店の皆さんに親切に指導してもらい、多くの学びを得ることができました。

さて、昨日は、私たちの職場体験活動に協力してくださり、ありがとうございました。大野さんを

【手紙の下書きの一部】

◎	2 条件①b、②を満たして解答しているもの (例) 謙譲語を使うことで、敬う気持ちが伝わると思うから。 【理由】 先日 さて、昨日は、私たちの職場体験活動に協力してくれてありがとうございました。大野さんをはじめ、お店の皆さんに親切に指導していただき、多くの学びを得ることができました。 この体験活動をするまで、私は、生花店で働くことについて、華やかなイメージしかもっていなかったのですが、皆さんに教わりながら、一つ一つ仕入れた商品を下処理したり、葉や花びらが落ちていないように気を付けたり、花を長持ちさせる方法や花言葉を勉強したりすることを通して、華やかさの裏には、それを支える作業や専門的な知識があることを知りました。	◎
◎	3 条件①c、②を満たして解答しているもの (例) 「一つ一つ」が「下処理したり」に係ることをはっきりさせるため。 【理由】 先日 さて、昨日は、私たちの職場体験活動に協力してくれてありがとうございました。大野さんをはじめ、お店の皆さんに親切に指導してもらい、多くの学びを得ることができました。 この体験活動をするまで、私は、生花店で働くことについて、華やかなイメージしかもっていなかったのですが、皆さんに教わりながら、仕入れた商品を一つ一つ下処理したり、葉や花びらが落ちていないように気を付けたり、花を長持ちさせる方法や花言葉を勉強したりすることを通して、華やかさの裏には、それを支える作業や専門的な知識があることを知りました。	◎

4	条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	
5	条件②を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	
99	上記以外の解答	
0	無解答	

■解答類型について

○ 【解答類型1～3】は、読み手の立場に立って、語句の用法や叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができています。

- ・ 【解答類型1】は、文が長いことが、読み手にとって読みづらく、書かれている内容を捉えにくい場合があることを理解して、修正すべき部分を見付けることができています。また、文を適切に分け、必要に応じて接続語等を補うことができています。
- ・ 【解答類型2】は、職場体験活動でお世話になった方へのお礼の手紙であることを踏まえ、敬語を用いた方が、感謝や敬う気持ちが伝わるということを理解して、修正すべき部分を見付けることができています。また、文章の中で敬語を適切に使うことができています。
- ・ 【解答類型3】は、語順によって語句の係り受けが曖昧になる場合があることを理解して、修正すべき部分を見付けることができています。また、語句の係り受けが明確になるように語順を修正することができています。

○ 【解答類型4、5】は、読み手の立場に立って、語句の用法や叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることに課題がある。

- ・ 【解答類型4】は、削除したり書き直したりしたい部分を見付けて、適切な修正をすることはできているが、なぜその部分を修正した方がよいと考えたのか、理由を適切に述べることができていない。
- ・ 【解答類型5】は、文章を推敲する際に、修正した方がよい場合について説明することはできているが、実際に【手紙の下書きの一部】を適切に修正することができていない。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
R3[2]ー	意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する	25.1%	pp.18-22	pp.27-31
R5[3]ー	レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する	54.7%	pp.25-31	pp.48-60

IV 解答用紙（正答（例））

※「組」、「出席番号」は、下の例のように記入し、マーク欄を塗りつぶしてください。

例：1組の場合
組： 1

生徒記入欄	
組	出席番号
組	出席番号
性別	性別
男	女
①	①
②	②
③	③
④	④
⑤	⑤
⑥	⑥
⑦	⑦
⑧	⑧
⑨	⑨

【質問】※解答時間終了後に回答してください。

- (1) ① ② ③ (2) ① ② ③ ④

※ログイン票を見て、
①答案番号(7桁)の数字を記入してください。
下の答案番号と一致しているか確認してください。

答案番号

答案番号 (7桁)

■ 全国学力・学習状況調査 解答用紙 国語 オマケ

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

1 一 ① ● ② ③ 二 ① ② ● ③ ④

四 【工夫】 【感想の一部】

① ● ② ③ ④ ← 選んだ【工夫】と【感想の一部】の記号を塗りつぶしなさい。

第一小学校6年生のみなさんへ

【例】昨年の来場者から、どうやって作品をつくったのか知りました。たくなという感想をもらいました。そこで、今年には中学生が作品について説明します。気になる作品があったら、ぜひ中学生に質問してください。

2 一 ① ② ● ③ ④ 二 ① ② ● ③ ④

四 【工夫の仕方】

① ● ② ③ ← 選んだ【工夫の仕方】の記号を塗りつぶしなさい。

【例】スライドの下の余白に、「花を育てる楽しみを地域へと書き加える。そうすることで、花を育てる楽しみが地域にも広がる」とが強調されて伝わりやすくなる。

解答欄はウラにもあります。

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

■ 全国学力・学習状況調査 解答用紙 国語 ウラ

3 一 ① ● ③ ④

二 兄 例 気が長い

弟 例 気が短い

三 ① ② ● ④

四 例 読者の意表を突く効果がある。なぜなら、「一 榎木の実」には、失敗した兄弟が、お爺さんのおかげで成功する場面が書かれているため、「二 釣の話」も同じような展開になると予想して読み進める読者が多いと思うからだ。

4 一・二

【手紙の下書きの一部】

例 先日、^{ご協力くださり、}さて、昨申は、私たちの職場体験活動に協力してくれありがとうございました。大野さんをはじめ、お店の皆さんに親切に指導してもらい、多くの学びを得ることができました。

この体験活動をするまで、私は、生花店で働くことについて、華やかなイメージしかもっていませんでした。しかし、~~いなかや作のずき~~、皆さんに教わりながら、一つ一つ仕入れた商品を下処理したり、葉や花がらが落ちていないように気を付けたり、花を長持ちさせる方法や花言葉を勉強したりすることを通して、華やかさの裏には、それを支える作業や専門的な知識があることを知りました。

二【理由】

例 文が長いいため読みづらく、体験活動の前と後での変化も伝わりにくいから。

解答欄はオモテにもあります。

V 点字問題（抜粹）

点字問題は、通常問題と同様の趣旨・内容で作成している。ただし、点字を使用して学習する児童生徒の情報取得の特性や点字による表現方法等を考慮し、児童生徒が調査問題で問われている内容及び解答に必要な情報を的確に把握し、問題の趣旨に沿った解答に臨むことができるように、例えば、次のような配慮を行っている。

(1) 問題文の記述及びレイアウト等について

必要に応じて、文章や図表等の記述を変更したり、提示する順序を入れ替えたり、ページ配置を変更したりするなどの調整を行う。

(2) 図やグラフの提示の仕方について

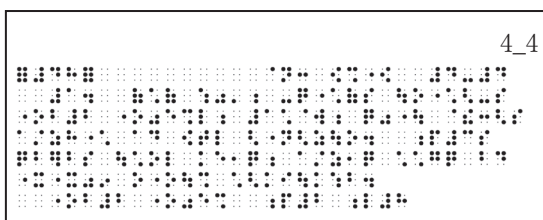
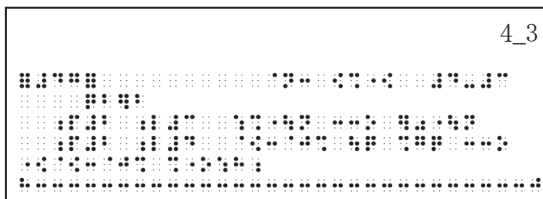
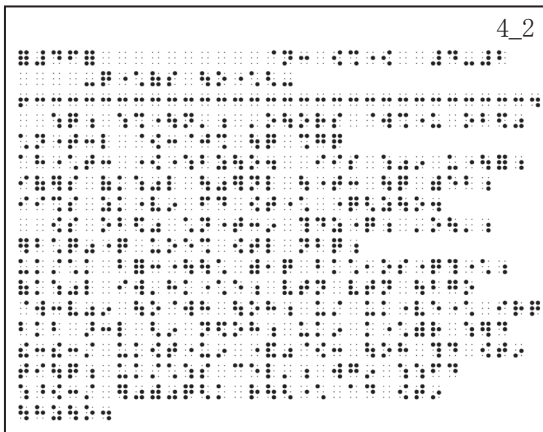
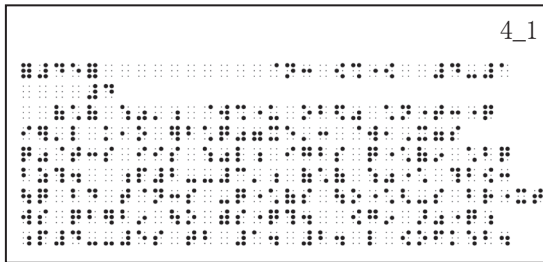
提示する情報の精選を行った上で、表に置換したり、必要かつ可能なものは点図（点を用いて示した図）で示したりするなど、提示方法の変更・調整を行う。

(3) 出題形式の変更及び代替問題について

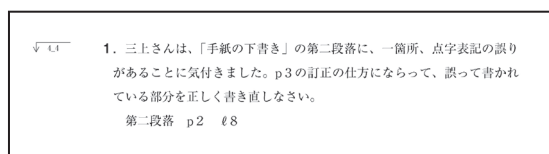
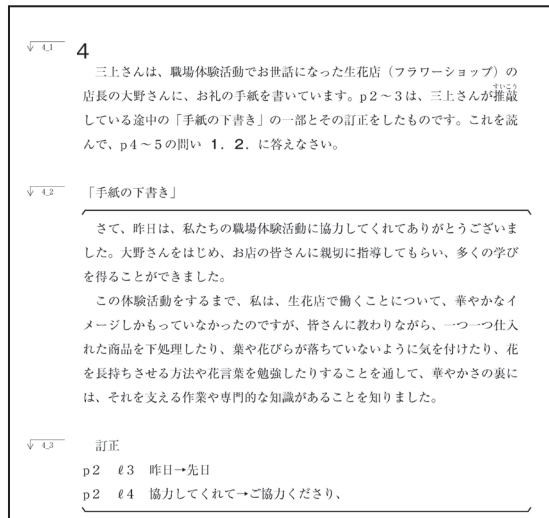
児童生徒の学習内容や生活経験等を考慮し、通常問題の内容をそのまま点字化して出題することが適当ではない問題については、出題の趣旨等を踏まえた上で、出題形式の変更や代替問題の作成を行う。

なお、上記のような配慮に伴い、解答種類の調整を行った問題については、pp. 51-53 に問題及び解答類型（点字問題用）を示している。

<点字問題（墨点字版）>



<点字問題（活字版）>



＜点字問題において解答類型の変更、調整等を行った問題＞

【点字問題】 2 4.

√ 2_14

4. 村田さんは、「スピーチ」の傍線部（ウ）の内容をより分かりやすく伝えるために、「資料4」としてキャッチフレーズを示した方がよいと考え、二つの「案」を示して、どちらがよいか、あなたに助言を求めています。あなたはどちらがよいと思いますか。村田さんの「案」のa. b. から一つ選び（どちらの「案」を選んでもかまいません。）、「条件」（1）と（2）にしたがって、あなたの考えを書きなさい。

p6 下ℓ6

√ 2_15

傍線部（ウ）「今行っている活動を工夫することで、私たちのマリーゴールドと、花を育てる楽しみが地域にも広がります。学校と地域が、マリーゴールドでつながったら、すてきだと思いませんか。」

「案」

- a. 咲かせてください 地域でも
- b. きっと 種も よろこんでくれる

「条件」

- （1）選んだ「案」の記号を書くこと。
- （2）選んだ「案」を示すことにより、どのようなことが分かりやすくなるかについて、傍線部（ウ）の内容を具体的に取り上げて書くこと。

問題番号	解 答 類 型	正 答
2 4.	（正答の条件） 次の条件を満たして解答している。 ① 「案」のa. b. のいずれか一つを選んで、書いている。 ② 選んだ「案」を示すことで、どのように分かりやすくなるかを書いている。 ③ ②について、傍線部（ウ）の内容を適切に取り上げて書いている。	

(正答例) ▪ a. 村田さんが特に伝えたいことが、地域の方に「花を育てる楽しみ」を味わってほしいということならば、「咲かせてください 地域でも」のほうがよく伝わると思うよ。 ▪ b. 「種も よろこんでくれる」と示すことで、「今行っている活動を工夫する」ということが、残った種を活用することだということを経験してもらうことが出来る。		
1	条件①、②、③を満たして解答しているもの	◎
2	条件①、②を満たし、条件③を満たさないで解答しているもの	
3	－（該当無し）	
99	上記以外の解答	
0	無解答	

【点字問題】 4 1.

$\sqrt{44}$

1. 三上さんは、「手紙の下書き」の第二段落に、一箇所、点字表記の誤りがあることに気付きました。p3の訂正の仕方にならって、誤って書かれている部分を正しく書き直しなさい。

第二段落 p2 08

問題番号		解 答 類 型	正 答
4	1.	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 誤って書かれている分まち書きとして、 「p2 下05 (または p2 013) いない よーに」と書いている。 ② 正しい分まち書きとして、「いない」と「よーに」の間のマスを削除して、①の解答の後に「→いないよーに」と書いている。	
		1 条件①、②を満たして解答しているもの	◎
		2 条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	
		99 上記以外の解答	
		0 無解答	

VI 擴大文字問題（拔粹）

- (1) 原則として文字の大きさを 22 ポイントとし、UD デジタル教科書体とする。
- (2) 十分な字間及び行間等に設定する。
- (3) 必要に応じて、拡大率やレイアウト等を変更する。

【通常問題】 1

①では、以下のような配慮を行い、次のページのように変更・調整した。

1) 通常問題では、問題全体を横置きにしているが、拡大文字問題では、見え方に伴う負担を軽減するために縦置きにし、【第一中学校のウェブページのお知らせ】において、左寄せのレイアウトに変更した。

2) 【ちらし】において十分な字間及び行間等に設定するために、2ページに割り付けた。

【第一中学校のウェブページ上の

行事のご案内

更新日 令和7年10月3日

美術展の開催のお知らせ

秋の恒例となった「第一中」
開催いたします。各学年の生徒
向けて作品づくりに励んでおり
存じますが、生徒たちの力作を
幸いです。ご来校をお待ちし

2 村田さんは、国語の授業に、学校の活動を地域に広げるプロジェクトについてスピーチをする時間を取って頼んでいます。村田さんは、青木さんとあんなにスピーチの準備をしてみたい、助手を求めています。次の「**村田さんのスピーチ**」と、「**スライド①**」から「**スライド③**」までを読んで、あとの問いに答えなさい。

村田さんのスピーチ

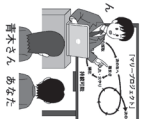
私は、「**ワープロプロジェクト**」をもとにしたアイデアを考えました。「**ワープロプロジェクト**」は、昔々も知っていますとおり、環境を改善が参加を募って行っている、ワープロを習得する活動です。参加したことがない人も、登下校のとき、きけいに残ったワープロの花は、ながめただことあるのではないだろうか。ワープロは、前から習得することが多いのですが、この活動では、採取した種から育てています。

ここで、スライド②を提示

スライド②に示したように、次の年、また次の年へとつながる、持続的な活動であることが、この活動の大きな特徴です。咲いた花を採らなければ、手入れもしながら成長を見守ることに協力をお願いします。1年次のときからこの活動に参加しています。

ここで、スライド③を提示

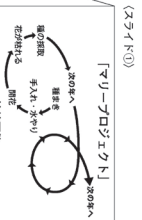
これは、実際に採取したワープロの種です。次のシーズンに学校で育てるのを確認したら、家でも育てたい参加者は種をもって帰ります。私も、種をもって、家庭と一緒に作っています。ただ、



村田さん
「ワープロプロジェクト」
青木さん あなた

スライド①

「**ワープロプロジェクト**」



スライド②

「**ワープロプロジェクト**」の種



スライド③

「つなごうワープロプロジェクト」の長所

- 採った種を活用できる
- 地域の方にも採ってもらえる

こちららも持続可能

スライド④

「つなごうワープロプロジェクト」の内容

- 採った種を地域の希望に配布
- ・学校行事や地域の行事で
- ・育て方のポイントを書いたカードを添えて

スライド⑤

「つなごうワープロプロジェクト」



みんなが特別扱いしたとしても、採取した種は残ってしまいませんか……あ、1年間で採取した種のうち、半分は残は残ってしまっています。そこで、考えのめ、今行っている活動を発展させた「つなごうワープロプロジェクト」です。

このプロジェクトの長所は、まず、残ってしまう種を利用できることです。そして、地域の方にも、花を育てる楽しさを味わってもらえます。しかも、ワープロの種は毎年採取できるので、このプロジェクトも持続可能です。

ここで、スライド④を提示

このプロジェクトの内容は、残った種を地域の希望する方にも配るといいます。例えば、地域の方が来校する学校行事や、私たちが参加する地域の行事などで配りたいと思います。育ててくださる地域の方のために、残った種から発芽しやすいものを選び、育て方のポイントを書いたカードと一緒に渡します。

ここで、スライド⑤を提示

今行っている活動を広げることで、私たちのワープロと、花を育てる楽しさが地域にも広がります。学校と地域が、ワープロと、つながった、すてきな思い出になります。

これで、私の発表が終わります。

2では、以下のような配慮を行い、次のページのように変更・調整した。

- 1) 同ページ上に配置していた【村田さんのスピーチ】と〈スライド〉を、対応が明確になるように、それぞれ別ページに割り付けた。
- 2) 〈スライド〉は、情報の捉えやすさを考慮して、図や文字を大きくしたり、写真のコントラストを調整したりした。

【村田さんのスピーチ】

私は、「マリープロジェクト」をもとにした
アイディアを考えました。

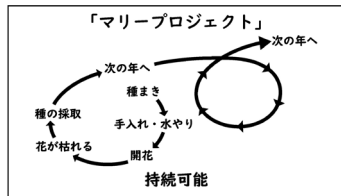
「マリープロジェクト」は、皆さんも知って
いるとおり、環境委員会が参加者を募って
行っている、マリーゴールドを育てる活動です。
参加したことがない人も、登下校のとき、
きれいに咲いたマリーゴールドの花に、心が
和んだこともあるのではないだろうか。マリー
ゴールドは、苗から育てることが多いですが、
この活動では、採取した種^{たね}から育てています。

ア

スライドに示したように、次の年、また次の
年へとつながる、持続的な活動であることが、

ここで、ヘスライド①を提示

この活動の大きな特徴です。咲いた花を楽しむ
だけでなく、手入れをしながら成長を見守る
ことに魅力を感じ、私は、一年生のときから
この活動に参加しています。



ヘスライド①

中国－20

中国－19

ここで、ヘスライド②を提示

これは、実際に採取したマリーゴールドの
種です。次のシーズンに学校で育てる分を確保
したあと、家でも育てたい参加者は種をもらって
帰ります。私も、種をもらって、家族と一緒に
育てています。ただ、みんなが持ち帰った
としても、採取した種は残ってしまいます。
……あ、一年間で採取した種のうち、半分以上は
残ってしまうのですよ。そこで、考えたのが、
今行っている活動を発展させた「つなごう
マリープロジェクト」です。

ここで、ヘスライド③を提示

このプロジェクトの長所は、まず、残って
しまう種を活用できることです。そして、地域
の方にも、花を育てる楽しさを味わってもらえ
ます。しかも、マリーゴールドの種は毎年
採取できるので、このプロジェクトも持続
可能です。

「つなごうマリープロジェクト」の長所

- 残った種を活用できる
- 地域の方にも楽しんでもらえる

こちらも持続可能

ヘスライド③

マリーゴールドの種



ヘスライド②

中国－22

中国－21